

# 倉敷医療生活協同組合 水島協同病院

## 病院名・診療科名・研修プログラム名

倉敷医療生活協同組合総合病院水島協同病院

救急総合診療科

水島協同病院内科専門研修プログラム/倉敷医療生協総合診療専門研修プログラム

## 住所・ホームページ・連絡先メールアドレス

住所: 〒721-8567 岡山県倉敷市水島南春日町 1-1

ホームページ: <http://www.mizukyo.jp/>

連絡先: kns-center@mizukyo.jp

## 指導医名・記載者名

副院長: 日向真(ひなた まこと)

日本内科学会認定医

消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医

日本プライマリ・ケア連合学会認定指導医

日本病院総合診療医学会病院総合診療医

救急総合診療科医長: 山本勇氣(やまもと ゆうき)

日本内科学会総合内科専門医

救急総合診療科医員: 辻将大(つじ まさひろ)

日本脳神経外科学会脳神経外科専門医

ITB 療法登録医

ボトックス施注資格

緩和ケア研修会 修了

救急総合診療科医員:田中裕之(たなか ひろゆき)

ICLS Instructor

緩和ケア研修会 修了

産業医資格

記載者:比森千博(ひもり ちひろ)

日本内科学会認定内科医

ISLS Provider

BDLS Provider

MCLS Provider

JATEC Provider

SHEAR 修了

JMAT おかやま研修会 修了

緩和ケア研修会 修了

災害医療 ACT 研究所 災害医療コーディネート研修会 修了

新潟大学次世代高度災害医療人プログラムアドバンスドコース 修了

## 研修プログラムの目標としている医師像

### ●WHO が提唱する「5 つ星医師」の能力を備えた医師を養成

- ・いざというときに安全で質の高い医療を提供もしくは紹介でき、セルフケアや健康づくりを援助できる医師
- ・患者の思いや願いを共有し、患者の心に寄り添うことができ、生きる力に援助できる医師
- ・患者の自己決定を援助し、倫理的、経済的な問題も含め専門家として必要な助言ができる医師
- ・地域社会の中でふれあい、お互いに尊重し、患者中心のチーム医療を実践する医師
- ・地域を知り、地域の人々(組合員)から信頼され、その地域の健康問題、社会的問題に対応できる医師

## スタッフ人数

5名(男性5名、女性0名)

## 専攻医数

3名(男性1名、女性2名)

## 当直

月4回程度(当直明けの帰宅 duty がなければ可能です)  
土曜日隔週8時半～12時半 (希望があれば土曜日の勤務を外すことは可能です)

## 診療科独自の病床数

固定の病床数はないですが、救急総合診療科では3チームあり、1チーム15名程度担当しています。

## 勉強会やカンファレンスの開催曜日・時間とその概要

医局カンファレンス(毎週水曜日 16時～): 医局員が集まり、治療方針を全体で確認していく。

多職種カンファレンス(毎週火曜日 13時半～): 医師、看護師、薬剤師、リハビリスタッフ、管理栄養士、ソーシャルワーカーが集まり、治療方針、退院方針を議論する。

チーム回診(週1回各チーム毎): 教育回診も兼ねており、チームで治療方針を共有し議論する。

総診カンファレンス(毎月最終月曜日 17時～): 教育カンファレンスであり、ドクターG形式で知識を確認する。

水島地域救急総合診療学習会(毎月第1水曜日 18時～): 倉敷中央病院総合診療科 國永直樹先生によるレクチャー。

## 具体的な研修・業務内容の紹介

内科外来業務:週に1コマ持ち、1コマ当たり再診患者含め20名程度の症例数となります。脂質異常症・高血圧などの管理から急性心筋梗塞、急性期脳梗塞などの症例も経験できます。

救急外来業務:週に3コマ持ち、walk in・救急車症例を診ます。小児～高齢者まで、内因性、外因性問わず経験します。重症であれば、高次医療機関へ転院搬送を行います。救急搬送数は年間約1600件ほどですが、スタッフ増員など体制が整い次第断らない救急を目指していきたいと思っています。

入院業務:1チーム15名程度が担当となり、初期研修医が研修中であれば担当医として管理をし、専攻医、スタッフがサポートをしていく体制としています。症例は誤嚥性肺炎、腎盂腎炎から人工呼吸器管理などを要する重症患者まで様々な症例を経験できます。現在のところ、当院にはICU、HCUがないため、一般病棟で可能な範囲での管理となります。

教育:チームごとの教育回診(1回/週)、多職種カンファレンス(1回/週)、医局カンファレンス(1回/週)を行っています。また、月に1回、総診カンファレンスと題して、症例を通して知識の確認、診断推論を行っています。

## 研修終了後の主な進路

当院スタッフ、他院総合診療科・内科

## その他・自由記載

2019年に救急総合診療科が立ち上がり、病院内の体制含め改善していく必要がある状況です。より良い科・病院にするために試行錯誤しています。2024年を目途に新病院建設予定となっており、マンパワーが必要で、皆様の意見を取り入れながら新しい病院を立ち上げていけたらと思います。

2021年は当科医師数が3名から8名へ増加しており、今後も当科以外の各診療科含め医師数を増やし各科を立ち上げ、若手医師が育つための環境を整備した病院にしていけたらと考えています。立ち上げに参加頂ける方を診療科問わず募集しております。ぜひ皆様の力をお貸し下さい。

「自分の家庭・家族を大切にできなければ患者を大切にできない。」プライベートの時間も大切にできるように配慮していきたいと考えています。  
皆様のご応募お待ちしております。

